

糖尿病・内分泌内科初期研修カリキュラム

【研修目標】

一般目標 GIO :

糖尿病、内分泌、代謝疾患の初期治療、管理を行うために病態を理解し、受診者のニーズを考慮した治療法を適用し、チーム医療ができる。

糖尿病、内分泌疾患の緊急症の治療を行うために病態を把握し、適切な治療法を選択出来る。

行動目標 SB0s :

- 1) 家族歴、嗜好歴、生活習慣、過去の治療歴、随伴症状の有無、内容などを要領よく聴取できる。(技能)
- 2) 受診者及びその家族に現在の症状と受診者のニーズに配慮した治療計画を説明することができる。(態度)
- 3) 糖尿病の病型、病期について説明ができる。(想起)
- 4) 受診者の病型、病期を判断できる。(解釈)
- 5) 糖尿病及び合併症に関する身体所見について説明ができる。(想起)
- 6) 糖尿病及び合併症に関する身体所見を診察できる。(技能)
- 7) 2型糖尿病に合併する肥満、高脂血症、高尿酸血症などの病態について説明できる。(想起)
- 8) 特殊な病型による糖尿病を疑うべき所見を説明できる。(想起)
- 9) 動脈硬化性疾患のリスクについて評価できる。(想起)
- 10) 甲状腺機能異常の身体所見について説明ができる。(想起)
- 11) 甲状腺の触診ができる。(技能)
- 12) 経口ブドウ糖負荷試験の適応が説明できる。(想起)
- 13) 経口ブドウ糖負荷試験の結果を評価できる。(解釈)
- 14) HbA1c とグリコアルブミンについて意義の違いも含め説明ができる。(想起)
- 15) HbA1c とグリコアルブミン結果を評価できる。(解釈)
- 16) 糖尿病合併症の評価に必要な所見、検査について説明できる。(想起)
- 17) 糖尿病合併症の重症度を判断できる (解釈)
- 18) FT3、FT4、TSH についての結果を評価できる。(解釈)
- 19) 糖尿病の食事、運動療法の概略について説明できる。(想起)
- 20) 糖尿病の食事、運動療法について上級医とともに受診者の生活に配慮した適切な指示、指導ができる。(問題解決)
- 21) 糖尿病のインスリン療法の適応となる病状について説明できる。(想起)
- 22) 糖尿病治療中の低血糖症状について説明ができる。(想起)
- 23) 糖尿病治療中の低血糖症状に対して的確な対処ができる。(問題解決)
- 24) 高脂血症の食事療法、運動療法について説明できる。(想起)
- 25) 高脂血症の適切な薬物を選択でき、患者指導ができる。(問題解決)

- 26) 高尿酸血症の病型に即した薬物療法、患者指導ができる。(問題解決)
- 27) 低血糖の主な原因につき説明できる。(想起)
- 28) 高血糖高浸透圧症候群、糖尿病性ケトアシドーシスの病態が説明できる。(想起)
- 29) 高血糖高浸透圧症候群、糖尿病性ケトアシドーシスの診断に必要な検査を実施でき、初期治療が迅速にできる。(問題解決)
- 30) 副腎不全を疑う所見について説明できる。(想起)
- 31) 副腎不全の診断に必要な状況に応じた検査を選択できる。(問題解決)
- 32) 副腎クリーゼを疑う所見について説明できる。(想起)
- 33) 上級医とともに副腎クリーゼの初期治療が行うことができる。(問題解決)
- 34) 甲状腺クリーゼを疑う所見について説明できる。(想起)

週間スケジュール:

	月	火	水	木	金	土
午前				部長回診		
午後	糖尿病 教室参加	NST 回診 甲状腺 US 穿刺	糖尿病 教室参加	糖尿病 教室参加 甲状腺 US 穿刺	糖尿病 教室参加	
夕刻	カンファレ ンス		合併症 カンファレ ンス			

* 上記以外の時間帯は担当患者回診に充てる。